

後援会 新春のつどいのご案内

2月12日(日) 吉見集会所

午前10時～昼1時 参加費：500円

11時～ 会食と交流

- メニュー ○助六パック
○大根煮
○つけもの
○キャベツのあえ物
○ビール1人 350ミリル 1本

安い参加費で
みなさんに楽しんでもらいたい！
持ち寄りや自家製、手作りで。
そこが、共産党後援会のいいところ！

訪問介護の時間を60分→45分に切り捨て
「介護崩壊」を加速させる政府民主党

こうしたなかで、今後3年間の
田尻町高齢者福祉計画及び介護事業計画（案）を策定作業中
生活援助の時間区分が、これまでの60分以上
から45分以上に切り捨てるなど民主党政権は
「介護崩壊」を加速させようとしているなかで、
各市町村は今後3年間の計画を策定しようとして
計画案にたいするパブリックコメントが募集
され、私は概略以下のような意見表明を行いました。
介護保険料は、基準月額四八七〇円で五〇二円の増、和光市の場合は、四一〇〇円前後
になりそうということです。

埼玉県和光市のような優れた住民本位の運営に学び、
田尻町独自の高齢者保健福祉施策・介護施策の前進を願う



小川・吉開 検索

田尻町支部活動募金
1口200円のお願い

なんでも相談は
月・水・金の
午前10時～正午
465-9939

2月の弁護士相談は、
10日(金)
夕方6時～8時
事前予約が必要です

2月の弁護士相談は、
10日(金)
夕方6時～8時
事前予約が必要です

(部内資料)

第1部 ごあいさつ

安岡忠雄後援会長

小川ゆうじ・よしかい育子

党大阪府副委員長
衆議院近畿ブロック比例予定候補

清水ただし



10:25
～
11:00

清水さんには、おもく、たつ。ぶり30分しゃべつてもういます
ぜひ、聞きにおこしください！

〔派遣村TV〕パーソナリティ
日本共産党府・副委員長 前大阪市会議員
かつては飲食店勤務の傍ら松竹芸能にも所属(93～年)
趣味は映画鑑賞と落語鑑賞 特技は合気道3級とバナナの叩き売り

田尻町の回答

介護サービスの利用状況等については説明が不十分なところもあると 思いますので、グラフ等を入れもつと分かりやすいものに改善します。 市町村特別給付については、その分 保険料負担が重くなるため、配食 サービス事業等は一般会計で実施しております。地域支援事業は、確かに3%枠だけでは必要な事業をすべ

小川ゆうじの意見

和光市のような優れた住民本位の運営に学び、田尻町独自の高齢者保健福祉施策・介護施策の前進を願う。市民に積極的に情報公開し、市民から広く意見を求めることが何よりも重要なことだ。介護サービスの利用状況等はないか? 介護サービスについて、もっと分かりやすい解説を入れてください。田尻町独自の施策や、まだほとんど利用されていない新しい制度、仕組みを積極的に取

り入れることが重要である。和光市では、高齢者地域送迎サービス助成事業や高齢者配食サービス費助成事業を市町村特別給付として実施し、二次予防の強化事業や在宅支援サービスを実施している。田尻町でも、地域支援事業費を上積み、独自の施策の展開を求める。(全文は「小川・吉開」のHPに掲載)

小川ゆうじ
の意見

て実施することができませんので、二次予防事業に重点を置いて実施しています。一次予防事業については、一般会計で健康づくり事業の中でも実施していただいております。なお、和光市などの先進地の事例は学ぶべきところがたくさんありますので、考えております。(一部省略)

埼玉県和光市は市独自の介護予防にとりくみ、3年前は介護保険料を引き下げた

増やせ元気な高齢者 予防事業が成果／和光市 2009年03月26日(木) 電子版 「埼玉新聞」の抜粋

になるので、「ずっと続けたい」と話す。市が実施する介護予防事業の一つで、カジノ遊びに加え栄養改善や筋力トレーニングを行う。担当者は「遊びだからお金を賭けるわけではない。お年寄りに楽しいことに夢中になれる時間を過ごしてもらう。手を伸ばしたり、身を乗り出した。同市下新倉の鈴木静江さん(84)は「一番の楽しみ。頭の体操になるので、ずっと続けたい」と話す。

「全国に先駆けて介護予防に取り組んできた和光市は、要介護者が減ったとして、2009年度から介護保険料を最大400円(年額)引き下げる。軽度の要介護状態だった高齢者が「自立」と認定されるまで回復するケースが多く、予防事業の効果が現れたといえそうだ。背景には高齢者のやる気を引き出し、的確なサービス提供を重視した市独自の先進的な取り組みがある。「えーっともうつていいの」。お年寄りがチップを手にして満面の笑顔を見せた。同市新倉高齢者センターの一室での一こま。介護福祉士がディーラーに扮し、まるでカジノのよう。最初はためらいをみせていたお年寄りも、しばらくするとイスから立ち上がり、身を乗り出した。同市下新倉の鈴木静江さん(84)は「一番の楽しみ。頭の体操になるので、ずっと続けたい」と話す。市が実施する介護予防事業の一つで、カジノ遊びに加え栄養改善や筋力トレーニングを行う。担当者は「遊びだからお金を賭けるわけではない。お年寄りに楽しいことに夢中になれる時間を過ごしてもらう。手を伸ばしたり、身を乗り出したりしている」